

地域資源を活用した外部空間形成手法としての「くらにわ」に関する研究

喜多方における地域資源を活かしたまちづくりの実践 その9

外部空間 地域資源活用 社会実験
喜多方市

| | | | |
|-----|---------|---|-----------|
| 正会員 | ○平岡 惟* | 同 | 矢原 有理* |
| 同 | 永瀬 節治** | 同 | 柏原 沙織*** |
| 同 | 鈴木智香子** | 同 | 野原 卓**** |
| 同 | 鄭 一止** | 同 | 北沢 猛***** |
| 同 | 蛸灰谷 愛* | | |

1. 研究の目的と背景

我が国の地方中小都市における中心市街地は衰退の一途にある。これらの市街地ではそれぞれ、独自の地域の自然条件、歴史、生活文化等を背景とした地域の資源やポテンシャルを有しているにも関わらず、有効に活用されていないという課題がある。

福島県喜多方市では、地域資源である蔵を中心としたまちづくり活動が、住民主体で活発に行われているものの、蔵の周辺環境をうまく活用できているとは言い難い。また、喜多方のまちなかにはゆとりや憩いを生み出す場所が少ないという現状がある。

そこで 2007 年 10 月、まちなかに点在する蔵周辺の外部空間を実際に利用して活用の可能性を示すことを目的とし、くらにわ社会実験を行った。これは、喜多方市で行われてきたまちづくりの動きを総括し、これからの喜多方のまちづくりのありかたを議論する場として開催された「くらはく」の企画の一つである。

本研究は、喜多方市を対象として、地域の資源である蔵などに隣接する空地を活用してゆとりや賑わいのある外部空間を形成する手法である、くらにわ社会実験を扱い、その成果と課題を分析する。

2. くらにわ社会実験概要

2-1. くらにわとは

「くらにわ」とは、蔵などの前や隣にある空地を利用してつくられた、魅力的な外部空間のことである。喜多方で多く見られる、蔵の前などの民地側に少し引っ込んだ空地や、軒下の小さな空きスペースを利用する。くらにわの目的は

- ① 緑や水をうまく使い、外部空間の魅力増大をはかる
- ② 空地を利用してまちの中に憩いの空間を生む
- ③ 各種イベントを行い、賑わいを生み出す

ことである。そして、

- ④ くらにわを所要所に設えて人の流れをつくる
- ⑤ 実際に設えることでくらにわの効果や課題を見出す

ことが、くらにわ社会実験の目的である。

2-2. 実施の詳細

社会実験に先立って、市の中心である小荒井・小田付の二つの地区とそれをつなぐ緑町を中心に調査を行い、くらにわとして利用できそうな空地と、既に魅力的であるオープンスペースやくらにわの見本となりそうな使い方をしている外部空間を取り上げた。そして、くらにわをつなぐルートや回遊性も意識して、27ヶ所を選定した。

このうち 15ヶ所では「新設くらにわ」として、積極的に設営やイベントを行った。「新設くらにわ」は、

- ・空地に緑や水を配し潤いある風景をつくるくらにわ
 - ・椅子や和傘を設置し休憩所として憩えるくらにわ
 - ・農産物直売などイベントを行い賑わいを生むくらにわ
- という 3 種類に分類できる。設営にあたっては地元住民が中心となり、植栽や小屋組み、竹椅子、和傘などを用い、それぞれの場所に応じて工夫しながらレイアウトした。

残りの 12ヶ所は

- ・蔵や緑を生かして潤いある風景を提供しているもの
 - ・まちに休憩スペースを提供しているもの
- など、既に魅力的な場所になっている「既設くらにわ」として、紹介した。

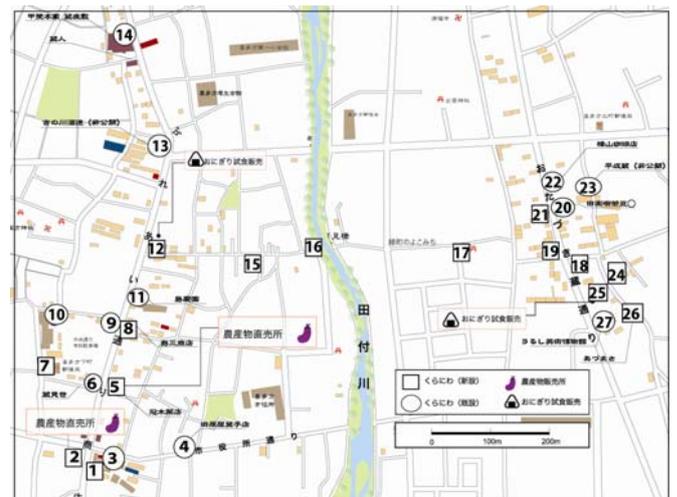


図1 くらにわの位置

表1 くらにわ一覧

| | | | | | | |
|----|---------------|----|--------|-----|-------|-------------------------|
| 1 | ふれあい夢くうかん | 新設 | 緑・休憩 | | 蔵の前 | 和傘、竹いすの設置、カフェの実施 |
| 2 | 下町まちかど | 新設 | 賑わい | | 蔵が見える | 小屋組み設置、農産物直売所 |
| 3 | 若喜商店煉瓦蔵前 | 既設 | | 蔵と緑 | 蔵の前 | |
| 4 | 田原屋菓子店 | 既設 | | 蔵と緑 | 蔵の前 | |
| 5 | くらにわ瀨文 | 新設 | 賑わい・休憩 | | 蔵の前 | 小屋組み・竹いす設置、農産物の販売 |
| 6 | 蔵見世 | 既設 | | 休憩 | 蔵の前 | |
| 7 | 大和川・大けやきの木陰 | 新設 | 賑わい・休憩 | | 蔵の前 | 小屋組み設置、カフェ実施 |
| 8 | 島三商店 | 既設 | 緑 | | 蔵の前 | 植栽 |
| 9 | 築家工房 | 既設 | | 緑 | なし | |
| 10 | 良志久庵 | 既設 | | 緑 | 蔵の前 | |
| 11 | 島慶園 | 既設 | | 休憩 | 蔵の前 | |
| 12 | 路地の駅・瀨野井 | 新設 | 賑わい | | 蔵の前 | 小屋組み設置、いす・机設置、お米試食・炊き出し |
| 13 | 吉野川酒造 | 既設 | | 蔵と緑 | 蔵の前 | |
| 14 | 甲斐本家蔵座敷 | 既設 | | 蔵と緑 | 蔵の前 | |
| 15 | 路地の駅・緑町 | 新設 | 休憩 | | 蔵の前 | 小屋組み・いすの設置 |
| 16 | 路地の駅・月見橋 | 新設 | 休憩 | | なし | 小屋組み・いすの設置 |
| 17 | 路地の駅・きゅうりの神様 | 新設 | 休憩 | | なし | 小屋組み・いすの設置 |
| 18 | まちの駅・てんぞうまちかど | 新設 | 休憩 | | 蔵の前 | いす・机の設置 |
| 19 | 小原酒造・名水と緑の門 | 新設 | 緑・休憩 | | 蔵の前と間 | 植栽 |
| 20 | 金忠前 | 既設 | | 蔵 | 蔵の前 | |
| 21 | 寄合所・軒の花かご | 新設 | 緑 | | 蔵の前 | 植栽 |
| 22 | 樟山珈琲店 | 既設 | | 休憩 | なし | |
| 23 | 平成蔵前 | 既設 | | 蔵と緑 | 蔵の前 | |
| 24 | 水路の小花たち | 新設 | 緑と水 | | なし | 植栽 |
| 25 | 五十嵐邸くらにわ | 新設 | 賑わい・休憩 | | 蔵の前 | 小屋組み・和傘の設置、お米試食・炊き出し |
| 26 | 油屋・軒の秋花 | 新設 | 緑 | | 蔵の前 | 植栽 |
| 27 | あづま | 既設 | | 緑 | 蔵の前 | |

2-3. 実施の様子と考察

3 種類の新設くらにわについて、それぞれ分析と考察を行った。

① 緑や水を配した潤いある風景をつくるくらにわ



図2 ふれあい夢くうかんの様子

空地に置かれた植栽が、分断されているまちなみをつなぐ役割を果たしていた。また、普段は隠れてしまっている資源を顕在化させ、蔵やまちなみの魅力を引き立てていた。

② 椅子や和傘を配した憩えるくらにわ



図3 路地の駅・緑町の様子

まち歩きや日常の買い物の途中で、憩う人があちこちで見られた。特に地元住民の通り道になっている緑町周辺では、人々の交流を生むきっかけとして機能していた。一方、まちの中心から離れた場所では利用されている様子はなく、椅子や和傘だけが唐突に置かれ、寂しい印象を与えてしまっていた。

椅子や和傘だけが唐突に置かれ、寂しい印象を与えてしまっていた。

③ イベントを実施し賑わいを生むくらにわ



図4 路地の駅・瀨野井の様子

イベント時には、多くの人で賑わった。特におにぎり試食会を行った路地の駅・瀨野井は、人通りの多いふれあい通りと緑町の横道との交差点だったこともあり、

イベント開催によって多くの人を集め、賑わいを生むことに

成功した。しかし、五十嵐邸くらにわでのおにぎり試食会は、人の集まりが悪かった。このくらにわは小田付地区の端というアクセスの悪い場所にあったことが、大きな原因だと考えられる。

また、イベントの行われていない平時には、未利用の空地が広がってしまっていた。イベントを行うだけでなく、植栽を用いた修景をするなど、普段の景観への配慮が求められる。

3. まとめ：くらにわ社会実験の成果と課題

今回のくらにわ社会実験から得られた成果と課題は以下の通りである。

くらにわを設えることによって、まちのなかに魅力的な外部空間を増やすとともに、普段は何気なく通り過ぎていた場所や地域資源の魅力を再認識するきっかけを与えることができた。また、空き地や駐車場などにくらにわを設置することで、連続的なまちなみを創出することができた。さらに、イベント時には多くの人を集め、まちに賑わいと活気をもたらすことに成功した。設えられた数ヶ所のくらにわを巡って歩く人の姿も見られたことや、くらはくに際して行った交通量調査から、人の流れを生み出す効果もあったと考えられる。

一方で、駅から距離のあるくらにわでは人の姿は少なく、イベント時にも賑わいを作り出せたとはいえない。また、平時の修景や設え方などにも改善の余地があると言える。

これら、くらにわのもたらす多様な効果と、改善すべき課題を見出すことができたことは、社会実験の大きな成果であったと考えられる。

* 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 修士課程
 ** 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 博士課程
 *** 東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 修士課程
 **** 東京大学先端科学技術研究センター助教
 ***** 東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 教授

* Master Course, Dept. of Urban Engineering, faculty of Engineering, Univ. of Tokyo
 ** Doctor Course, Dept. of Urban Engineering, faculty of Engineering, Univ. of Tokyo
 *** Master Course, Dept. of Socio-Cultural Environment, Grad.school of Frontier Sciences, Univ. of Tokyo
 **** Research Associate, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo, M. Eng
 ***** Prof., Dept. of Socio-Cultural Environment, Grad.school of Frontier Sciences, Univ. of Tokyo